

長畝ふるさと通信



【2022年3月号】

■ 令和4年産米スタートです！

令和3年産米はJA仮渡金単価の下落で約620万円、新之助オール2等米による格落ちで約480万円、合計1,100万円もの減収となり赤字決算となりました。背水の陣で臨む4年産です。日本穀物検定協会の食味ランキングでも佐渡米は特A奪還ならず、3年連続Aランクとなりました。ボク的には食味コンテストやランキングにはあまり関心がなく、うちのお米を食べていただく皆さんが「今年も美味しいよ」と言っていただければそれで満足です。今年目標は第一に計画反収8俵を達成すること、第二により一層美味しくするために、「粒張り」の良いぷりっとした米粒のお米を意識して作っていきたいと考えています。特にそのための秘策があるわけはありませんが、まずは原点回帰して基本作業を徹底した栽培管理から取り組みたいと思っています。NHKの朝ドラでは「あんこの声を聴けば美味しゅうなる」と言っていたのですが、お米の声を聴きながらやろうかと…。



■ 1日も早い終結を願って

ロシアがウクライナに侵略戦争を始めて1ヶ月余りが経過しました。ウクライナの死者は7,000人とも言われ、400万人(うち子供が200万人)もの人々が故郷を追われ、国外に避難しているとの事。一方のロシア兵も死者が10,000人との報道もあり、戦火で荒廃した町の映像にやり切れない思いをしています。近代において侵略戦争が成功した試しはなく、長期化すれば国民生活が疲弊し散々な結末を迎えており、誰も得することはありません。1日も早い終結を願って近所のお寺にある願掛け地蔵にお願いしました。



「元の青空が戻りますように」

■ お米は値上がりしません！

コロナ過ですっかり冷え切った日本経済に更に追い打ちをかけるロシアへの経済制裁の影響は、国民生活を益々窮屈にさせてと言われています。石油や天然ガスの供給は世界的に混乱し、日本でも小麦は17.3%も値上げ、サーモンなどの海産物も手に入らなくなってしまっ…それでも我が国は「欲しがりません！勝つまでは」の大和魂があるじゃないか。パンや麺類が値上がりして困ったという前に、我々には値上がりしない国民食「おコメ」があるじゃないですか。戦争は一刻も早く終結させるべきですが、今こそ「おコメ」がスポットを浴びるときです。食糧自給率100%にして「日本の食糧安全保障の要」と言われるおコメをみんなで食べましょう。



我が家の隣のお寺に咲く「河津桜」が咲き始めています。

■ ウクライナ難民を受け入れたい

あくまでも個人的な意見ですが…ウクライナから国外へ避難した人々を佐渡へ受け入れたい。佐渡は人口減少に歯止めがかからず、農業の後継も困難になっている。日本政府も受け入れを積極的に検討しているようですが、東京じゃダメ、地方へ移住させてもらいたい。言葉や生活習慣の壁はどうにでも乗り越えられる。ロシア人の亡命者でも歓迎しますよ。戦前の大物右翼のおじいさんがテレビのCMで「世界は一つ、人類は皆兄弟」と言っていたのを思い出しました。ボクは右翼ではありませんが、今はこの言葉がしっくりきますな。

